

一般質問

市政全般にわたり18人の議員が質問 (紙面の都合により要旨を掲載)



三枝 浩樹 議員《市政クラブ》

「コミュニケーションセンター」の活動費用は税金です

大集会室がコミセン利用の大半を占めている一方で、学習室や実習室は、コミセンによつては利用の少ない地区が散見されます。学習室は、主な利用者は学生であるため、午前中は必然的に空きスペースになりがちです。

用促進策が議論されています。議論の中で出されるアイディアをくみ上げるために、当局と管理運営委員会との話し合いはどのように行われているのか、お伺いします。

市民部長 学生の利用が多い学習室については、平日の午前中などは利用者が少なく、空いた状況もしばしば見受けられます。空いている時間帯を有効活用するために各コミセンでは団体利用も受け付けており、昨年度は全館合計で1200件を超える団体利用がありました。

「コミュニケーションセンター」の目的は、「市民相互の交流を図り、連帯感にあふれた人間性豊かな地域社会づくりを推進し、もつて福祉の増進と文化の向上に寄与するための施設」と規定されており、コミセンの建設費、施設維持管理費を市民の税金で支払っているという観点から、利用が少ない部屋の状況は、コミセン全体の費用対効果が疑問視されるものと考えます。

「コミュニケーションセンター」管理運営委員会では、各委員長同士の意見交換会などで利



伊田 雅彦 議員《政和会》

追加的返還候補地に病院誘致を!

キャンパス座間に関する協議会第6回幹事会において、「返還地に自衛隊病院を整備できないか」との要望が出され、

「自衛隊病院については、現行の病院を集約化することとされているから困難である」との回答だったようです。

我々政和会では、この追加的返還候補地の利用について、多くの市民が病院設置を望んでいる中で、自衛隊病院にこだわらず、国との協力の中で、市民の皆さんのために、ある程度の規模を持った民間病院の誘致などをすべきであると考えており、議論もしているところですが、実現すれば市民の皆さんにとって大きな成果となることから、追加的返還候補地への病院設置を強く希望するものですが、市長のご所見を伺います。

市長 次期総合計画の策定に伴い開催した地域別懇談会の場でも、病院設置の要望を数多くいただいています。仮に病院の誘致を考えた場合、



山本 愈 議員《政和会》

学校図書司書の配置等 読書環境の整備について

子どもにとって読書は、言葉や学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く、生きる力を身につけるなど、極めて大切なものであることは言うまでもありません。しかし、今、子どもを取りまく環境は、読書よりゲーム、テレビ、ビデオ等刺激的なメディアに向かう傾向が強くあります。したがって読書の習慣化や読書力の向上を図るためには、私たち市民が一丸となって取り組む必要があります。

加しつづつありますが、専任司書の配置により、読書に親しむ機会が増加し、その結果学力が向上したという報告もあるようです。本市での専任司書配置と「朝の10分間読書」に対する考えを伺います。

教育長 小・中学校全校に配置の司書教諭は専任ではないため、非常勤の図書整理員を各校に委嘱しています。また、専任司書教諭の配置を県に要望しています。朝の10分間読書については、現在小学校全校、中学校3校で活動を続けており、さらに普及に努めていきたい。

教育部長 読書活動推進計画については、学校など各施設における計画に基づいて事業を展開しています。今後は、今年度で計画が終了するため、内容等の検討をしていきたい。



京免 康彦 議員《政和会》

市民への情報発信について

現在、市内で発生した建物火災、行方不明者、不審者、光化学スモッグ、イベント中止、その他の六つの情報を、「座間市緊急情報いさま」で提供しており、行方不明者のアナウンスなども、同報無線で対応がされています。

「ツイッター」の活用であります。現在では大企業や著名な個人、国を初め多くの自治体でもイベント情報や緊急情報の発信源として活用がされています。近隣の事例では、大和市が市民祭りの情報を開催当日までお知らせしていました。他に活用として苦情受付や市政相談なども考えられます。所見をお伺いします。

市民部長 ラジオ局でも対応可能との事ですが、費用対効果の関係から、現状では難しいと判断しています。

秘書室長 「ツイッター」という言葉自体は広く知れ渡っているものの、まだ実際に利用している人は一部に限られている状況ですので、活用については今後の研究課題とさせていただきます。



上沢 本尚 議員《公明党》

高齢者・障がい者福祉 について再考を

本市では今年度、高齢者・障がい者福祉の事業において、見直しによるサービスの減少や廃止をしました。高齢者福祉では、入浴券支給事業や75歳以上の高齢者はり灸マッサージ券助成支給事業の廃止、また、障がい者福祉では、福祉タクシー券支給事業について、利用者増と社会経済情勢を理由に助成を半減しました。

障がい者の福祉タクシー券支給事業や自動車燃料助成事業については、一律半減という助成になりましたが、こうした削減は、障がい者の社会参加を促進し、外出を支援するといった事業本来の目的を行政みずから制限することになりかねず、そのまま家計を圧迫することになります。

横浜市、川崎市、秦野市、南足柄市などでは、このよう

な理解が得られたのかどうか、疑問が残るところです。障がい者の福祉タクシー券支給事業や自動車燃料助成事業については、一律半減という助成になりましたが、こうした削減は、障がい者の社会参加を促進し、外出を支援するといった事業本来の目的を行政みずから制限することになりかねず、そのまま家計を圧迫することになります。

議会だより編集委員会

議会だより編集委員会

議会だより編集委員会

議会だより編集委員会

議会日誌

- 18 基地対策特別委員会行政視察：山口県岩国市(19)
- 24 厚木基地周辺市議会基地対策協議会総会
- 25 基地返還促進等市民連絡協議会役員会・総会
- 26 全国市議会議長会第86回定期総会：日比谷公会堂
- 27 議会運営委員会代表者会議
- 3 第2回定例会本会議
- 10 第2回定例会本会議
- 11 第2回定例会本会議
- 14 企画総務常任委員会
- 17 保健福祉常任委員会
- 18 教育市民常任委員会
- 21 都市環境常任委員会
- 22 基地対策特別委員会
- 23 総合計画特別委員会
- 25 議会運営委員会
- 28 議会だより編集委員会
- 30 高座清掃施設組合第1回臨時会
- 5 第2回定例会本会議
- 7 大和斎場組合第1回臨時会
- 5 全国市議会議長会基地協
- 12 厚木基地周辺市議会基地対策協議会行政視察：福岡県芦屋町(13)
- 13 岡原市市民常任委員会行政視察：福岡県行橋市、嘉麻市、春日市(15)
- 14 企画総務常任委員会行政視察：北海道函館市、青森県五所川原市、弘前市(16)
- 20 都市環境常任委員会行政視察：北海道苫小牧市、帯広市(16)
- 20 保健福祉常任委員会行政視察：兵庫県明石市、愛知県北名古屋市、京都府京都市(22)
- 27 議会だより編集委員会
- 27 議会運営委員会行政視察：宮城県東松島市、石巻市(28)
- 29 山形県長井市議会行政視察来庁